



12月 行事予定と内容

1日(月)安全のおはなし

*冬季の戸外での遊び方についてのお話を聞きます。

2日(火)健康のお話

*手洗いスタンプを利用し、手洗いの大切さを学びます。

5日(金)祖父母参観

*詳細は祖父母参観のご案内をご覧ください。

10日(水)おはなし会(未満児)

*読みかたりグループ「つくしんぼ」のスタッフが来園し、子ども達に、お話の世界を届けてくれます。

11日(木)消火・避難訓練

*大きな地震の時の避難の仕方を再確認します。

16日(火)食育教室

*食育部員によるエプロンシアターを通して食育の大切さを再確認します。

17日(水)園長先生のお話「今日は何の日？」

*「飛行機の日」について保育教材を使いながら子ども達の興味や関心を広げていけるようなお話で楽しんでもらいます。

18日(木)防犯訓練

*不審者乱入時の対応について横手警察署の警察官よりお話があります。

19日(金)なるレク Jr

*なるレクの方々楽しいゲームやふれあい遊びを楽しませてくれます。

22日(月)交通安全教室

*雪道の安全な歩き方について学びます。

23日(火)プログラミング教室(5歳児)

*8回目の今回は左を使わずに目的地までプログラミングカーを動かします。

24日(水)誕生会&クリスマス会

*クリスマスムードが漂う12月に誕生したお友だちをお祝いします。今年も、なる仙サンタさんが来るかな…？

24日(水)おはなし会(以上児)

*読みかたりグループ「つくしんぼ」のスタッフが来園し、子ども達に、お話の世界を届けてくれます。

26日(金)大掃除・きら☆きらタイム

*お部屋も心もすっきり、気持ちよく新年を迎えます。

29日(月)～1月3日(土)年末年始休み

*毎週木曜日 カイル先生・サム先生の英語教室

*1月30日(金) 雪まつり (夕刻より)

チャリティショー11月1日(土)

社会貢献活動をする中で、地域とつながる事が主な目的です

社会福祉大会後のチャリティショーに以上児クラスが参加させて頂き、運動会で披露した、ゆうぎ“地球の子ども”を披露しました。地域の方々に見守られながら、笑顔でステージを楽しみ、沢山の拍手を頂き、発表会への意欲にもつながっていたようです。

東成瀬村たすけあいチャリティショー



おひさま



なるせ保育園

R7. 11. 28(金)

「なかよし発表会」11月15日(土)

一人一人が輝いていました。

今年は熊の出没情報があり、心配されましたが、出没もなく、それぞれの年齢・発達に合わせた演目を発表し、沢山の保護者の方々、ご来賓の方々にもご覧いただきました。友達と一緒に楽しんで参加する子ども達の姿。和やかな会場の雰囲気。会場からたくさんの拍手を頂いたことが自信となり、さらなる成長につながると思います。保護者会より可愛いクリスマスバックのお土産もいただき、達成感と満足げな表情を見せる子ども達でした。皆様の温かい拍手に感謝いたします。本当にありがとうございました。



消防署訪問 11月25日(火)

消防署ってどんなところ？

勤労感謝の日にちなみ、日頃から地域を守ってくださっている消防士さんたちに感謝の気持ちも込めて、保育園前の消防署を見学しました。署員の方々が普段過ごしている場所を見せていただいた後に消防車や救急車にも乗せて頂き、子どもたちは目を輝かせながら貴重な体験を楽しみました。働く人々の役割や努力を知ることで、「ありがとう」の気持ちを持つことができたようです。



「おやこ食育教室」11月26日(水)

親子で望ましい食習慣を考えよう！

民生課石川保健師さん、村のヘルスメイトさんから「朝食共食の大切さ・就学に向けての準備」についてのお話の後、食育教室で好評の食材当てゲーム“はてな BOX”をみんなで楽しみました。担任の先生から、子ども達の園での様子のお話の後は、待ちに待った調理実習。在宅栄養士の半田栄養士さん、保育園栄養士と共にフリフリサラダ作りを楽しみ、減塩豆乳スープ、保育園定番メニューのカレー、ナンとともに昼食で美味しくいただき、盛りだくさん楽しい時間を親子で過ごしました。



あきたのそこちから！

～家族を笑顔にする10のヒント～

か感謝の気持ちを伝えよう！

「ありがとう」が育む思いやり

「ありがとう」と言われるうれしさを実感すれば、人にも感謝を伝えられます。家族で、日頃から「ありがとう」と言って感謝の気持ちを伝えましょう。「ごめんない」も素直に言えるようになりたい大事な言葉です。心を込めた言葉は相手の心に伝わり、思いやりの心も育てきます。

親が手本をみせましょう！

自分が言うにはちょっと勇気はいるけれど、人から言われると心が温かくなったり、緊張がほぐれたりする思いやりの言葉があります。

日頃から耳にしていない言葉を、子どもはうまく使えるようになりません

・「ありがとう」言う場面はたくさんあります。親が手本をみせましょう。
・家族や夫婦で、ささいなことでも日頃から「ありがとう」という習慣をつけましょう。

家庭で日常的に耳にすることで、どんなときにどんなふうに使うのかを覚えます。

・「ごめんない」言うのも大人の手本が大切です。
・謝罪を受け入れて、許してあげる姿も見せましょう。
・「ごめんない」を言えた勇気を認めましょう。

心を込めていえると相手の心に伝わります！

子どもは親の鏡です！

親が友達や先生の事を悪く言う、子どもも友達や先生の事を悪く言うようになります。まさに、子どもは親の鏡です。人に感謝したり、人をいたわったりする親を見れば、子どもも素直に感謝やお思いやりを示すようになります。日頃から、人の良いところを見つけ、認めるプラスの言葉を使うようにすれば、子どもも自然に人の良いところを見つけられるようになります。